

第81期事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

証券コード：4999

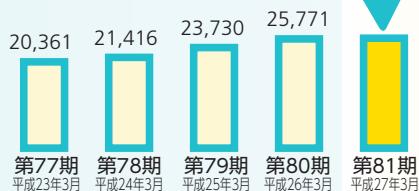
C E M E D I N E R E P O R T

- | | |
|--------------|----------------|
| P1 当期のポイント | P2 株主の皆様へ |
| P3 トップインタビュー | P5 当期の市場別ポイント |
| P6 トピックス | P7 特集：セメダインの歴史 |
| P9 連結財務データ | P10 会社概要・株式の状況 |



当期のポイント

売上高 **25,937** 百万円



前年
同期比

0.6%増

平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響を受けたものの、海外連結子会社での売上増加や、平成25年8月にCEMEDINE(THAILAND) CO.,LTD.を連結子会社化したことによる売上増加などにより、売上高は前年同期と比べ0.6%増加の25,937百万円となりました。

総資産 (百万円)



経常利益

752 百万円

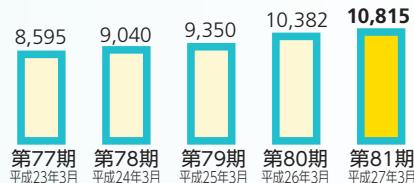


前年
同期比

24.3%減

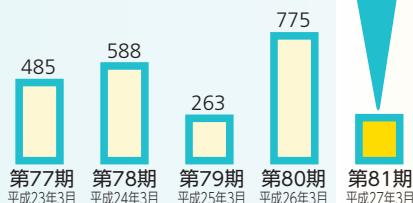
売上高は微増しましたが、国内における売上減少や海外連結子会社の事業進展の遅れなどにより、経常利益は前年同期と比べ24.3%減少の752百万円となりました。

純資産 (百万円)



当期純利益

267 百万円



前年
同期比

65.5%減

経常利益の減少に加え、特別利益「厚生年金基金解散損失引当金戻入額」と特別損失「減損損失」、「繰延資産償却費」および「事業構造改善引当金繰入額」を計上したほか、繰延税金資産の回収を慎重に検討したことおよび、法人税率変更による繰延税金資産の取崩を行ったことにより税金費用が増加したため、当期純利益は前年同期と比べ65.5%減少の267百万円となりました。

一株当たり純資産 (円)

一株当たり当期純利益 (円)



株主の皆様へ

セメダインは、

**“人を大切にし、より良い製品をより多くの
人々に提供することにより社会に貢献する”**

**大正12年（1923年）の創業以来変わることのない
この企業理念に基づき活動を続けております。**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は平成27年4月1日付にて代表取締役社長に就任いたしました。

新たな経営体制のもと社業発展のため今後最善の努力をいたす所存でございます。

ここに、当社第81期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業状況と決算につきましてご報告申し上げます。

利益配当につきましては、1株当たり5円とさせていただきますので、既にお支払しております中間配当金5円と合わせまして当期の年間配当金は、10円となります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長 岩切 浩

『接着』に関するあらゆるニーズに応え、 新市場の開拓やグローバル展開を 図ります。

Q 当期（平成27年3月期）の業績について、ご説明ください。

A 売上高は微増を確保したものの、経費の増加や海外事業の進展遅れなどの影響で利益は弱含みました。

当期（平成27年3月期）の連結業績は、国内では4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長引き、厳しいものでしたが、海外連結子会社の売上増加や平成25年8月に実施したCEMEDINE (THAILAND) CO., LTD.（以下、セメダインタイランド）の連結子会社化により同社売上高が加算されたこともあり、売上高は25,937百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

一方、利益につきましては、国内売上の減少や経費の増加、海外連結子会社の事業の進展遅れなどにより、営業利益は615百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益は752百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

さらに、当社及び一部の連結子会社が加入する年金基金の解散に伴い「厚生年金基金解散損失引当金」の全額戻入処理による特別利益（470百万円）を計上しました。特別損失としては、北米自動車市場で事業を行う連結子会社CEMEDINE AUTOMOTIVE NORTH AMERICA CO., LTD. における減損損失（93百万円）、繰延資産償却費（125百万円）、事業構造改善引当金繰入額（163百万円）などを計上しました。その結果、当期純利益は267百万円（前年同期比65.5%減）となりました。

Q 当期（平成27年3月期）の関連市場別の動向はいかがでしたか。

A 建築土木関連や一般消費者関連は、消費税率引き上げの影響が長引き不振でした。

当社の売上のほぼ半分を占める建築土木関連市場は、消費税率引き上げに関連した需要の反動が長引き、新設住宅着工戸数が減少したことなどから、建築用シーリング材や内外装工事用接着剤の売上が減少しました。新製品としては、変成シリコーン樹脂系弾性接着剤の技術を応用した木質床用弾性接着剤「セメダインフロアロック110」を発売したほか、内装用接着剤をリニューアルし、各用途別に「ロックシリーズ」としてシリーズ化を行いました。また、量的寄与の大きい外装用（タイル）接着剤も改良しました。

工業関連市場は、自動車と電機関連が主であり、注力してきた導電性接着剤をはじめとした機能性接着剤の売上が堅調でした。また、セメダインタイランドの連結子会社化により増収となりました。新製品としては、接着が困難な素材と言われているポリプロピレン樹脂に表面処理なしで強力に接着できる1液タイプの弾性接着剤「セメダインSX-PPK1000」を発売しました。市場の反応は良く、今後に期待しています。

一般消費者関連市場は、個人消費の持ち直しのペースが極めて緩やかなものに留まり、激しい価格競争の影響も受け、減収となりました。水性・多用途型接着剤の「セメダインPASTE（パステ）」や「セメダインハイグレード模型用」の発売を開始し、製品ラインナップの拡充を図りました。

Q 本年4月の社長ご就任にあたりまして、抱負や思いをお聞かせください。

A 「接着」に関するあらゆるニーズに応え、新市場の開拓、グローバル展開、問題解決型を経営戦略の基軸にしていきます。

“人を大切に、より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する”という大正12年（1923年）の創業以来、変わることのない企業理念に基づき、セメダイングループの企業価値をさらに高めてまいります。

当社グループには接着剤の先駆的メーカーとしての長い歴史とブランド力がありますが、それを踏み台として、「既存市場の極大化に加え、次世代に向けた新市場の開拓」、「日本国内に加え、グローバル展開」、「製品中心から問題解決型」を経営戦略の基軸としています。

当社グループは『“モノ”と“モノ”を着ける（接着する）』ことの周辺技術に特化した『接着剤の老舗』ですが、その固定観念にとらわれ過ぎることなく、もっと多種多様な『接着する』要求に応え続け、課題解決に意欲的に取り組みます。当社の相談センターには年間3万件もの「接着」に関する相談が寄せられます。そこには新しい成長の芽やヒントがあり、大切なものと受け止めています。

海外展開については、米国やタイ、中国で自動車関連事業を行い、台湾やフィリピンにも生産拠点があります。今後は国内も海外も関係なく、どこでも顧客のニーズを満たしている、品質保証を含めた拠点共通の供給体制の確保への取り組みを強化していきます。地域としては、特に東アジアを重要とらえています。

Q 次期（平成28年3月期）の見通しについて教えてください。

A 当期（平成27年3月期）の落ち込みから回復し、コスト改善効果も表れ、増収増益を見込んでいます。

次期（平成28年3月期）は増収と大幅な増益を見込んでいます。売上高27,600百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益1,000百万円（前年同期比62.4%増）、経常利益1,000百万円（前年同期比32.9%増）、当期純利益640百万円（前年同期比139.5%増）を計画しています。国内外の既存事業の収益の安定化を図り、積極的に資源を投入して付加価値の高い

新製品や新市場の開拓を進めていきます。さらに、コスト構造の改革を2年前より5年計画で行っており、3年目となる次期（平成28年3月期）においては、全社横断的に取り組んでいる製品のグレードや品質の見直しの成果などがようやく実を結んで来ると期待しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 安定的・継続的な利益還元を重視しつつ、積極的・戦略的な取り組みや中長期的な構造改革を実施していきます。

当社は株主の皆様に対する安定的な利益配当を経営の最重要課題の一つと認識し、継続的な利益確保とバランスのとれた安定配当を行うことを基本方針としています。当期（平成27年3月期）の期末配当は1株当たり5円とさせていただき、年間配当は、中間配当5円と合わせて10円となりました。また、次期（平成28年3月期）の1株当たり配当については、中間配当として5円、期末配当として5円とを合せて、年間配当10円を予定しています。

平成27年度は、平成28年度からスタートする中期経営計画を策定していきますが、平成35年（2023年）の創業100周年に向けた8年の長期経営計画の同時策定も考えています。積極的・戦略的な拡大を目指した事業の取り組みと、そのための構造改革を柱に据え、新たな体制によるセメダインのさらなる強化を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



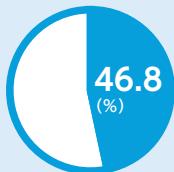


当期の市場別ポイント

建築土木 関連市場



売上高構成比



売上高(百万円)



12,138

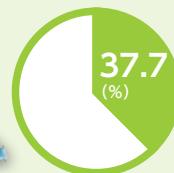
百万円

変成シリコン樹脂系弾性接着剤の技術を応用した木質床用弾性接着剤「セメダインフロアロック110」を発売したほか、内装用接着剤をリニューアルし、各用途別に「ロックシリーズ」としてシリーズ化を行い、建材用途への展開を行いました。新設住宅着工戸数が減少したことなどから、建築用シーリング材や内外装工事用接着剤の売上が減少し前年同期比4.3%減少の12,138百万円となりました。

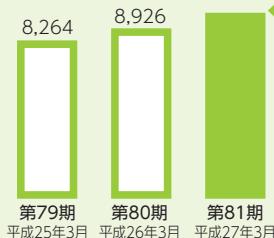
工業 関連市場



売上高構成比



売上高(百万円)



9,778

百万円

接着困難な素材への展開として、ポリプロピレン樹脂用接着剤「セメダインSX-PPK1000」を発売いたしました。注力してまいりました導電性接着剤をはじめとした機能性接着剤の売上は堅調であり、さらに、海外連結子会社の売上増加や平成25年8月に実施したCEMEDINE (THAILAND) CO., LTD. の連結子会社化により同社売上高が加算されたこともあり、前年同期比では9.5%増加の9,778百万円となりました。

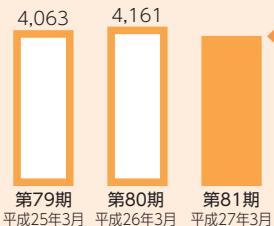
一般消費者 関連市場



売上高構成比



売上高(百万円)



3,905

百万円

水性・多用途型接着剤の「セメダインPASTE(パステ)」、「セメダインハイグレード模型用」の発売を開始し、製品ラインナップの拡充を図りました。激しい価格競争の影響を受け、前年同期比では6.2%減少の3,905百万円となりました。

Topics

トピックス

Topics 1

創業90周年ベルマーク 協賛キャンペーンのテントを寄贈

セメダイン創業90周年を記念して「君たちと無限大の未来へ」をテーマに全国の小学校を対象に「創業90周年ベルマーク協賛キャンペーン」を平成26年9月末までの1年間行ってきました。

対象期間のセメダインベルマーク集点トップの小学校に対して平成27年2月よりテントを寄贈しました。

全国1位の神奈川県座間市立座間小学校と全国2位の宮城県石巻市立鹿妻小学校の全校朝会にセメダイン荒井社長(当時)が訪問し、それぞれの小学校で表彰状と目録の贈呈式が行われました。

テントを寄贈した小学校から感謝のお礼状やお電話などを頂き、子供たちをはじめ先生、PTAの皆様の喜びが伝わってきました。

今後も「セメダイン」は次代を担う子供たちを支援するために、また、社会に貢献する企業として「ベルマーク運動」へ引き続き協賛します。



Topics 2

アジア最大級の床見本市 『DOMOTEX asia/CHINAFLOOR』出展

平成27年3月24日～26日に中華人民共和国の上海で開催されました床の国際見本市にセメダインとして出展しました。

あらゆる素材の床への接着を目的として、昨年製品化した木質フロア用『CEMEDINE FLOORLOCK 110(セメダインフロアロック110)』を中心に、塩ビ床材用『CEMEDINE FLOORLOCK ECO(セメダインフロアロックエコ)』、タイル・石材床材用『CEMEDINE TILEACE(セメダインタイルエース石材用)』などを提案しました。

今回の出展をきっかけとして、アジア地域の建築土木関連市場におけるセメダインブランドの浸透を図り、顧客獲得を図りたいと考えております。



Topics 3

新製品 『セメダインnu~no!(ぬ~の!)』発売

一般家庭用接着剤として手芸・クラフトに最適な『セメダインnu~no!(ぬ~の!)』が平成27年初夏に新発売されます。

ユニークなネーミングは若手社員のアイディアから、「布」と「縫う」をひっかけて生まれました。

お裁縫が苦手な方でもミシンや針・糸を使わずに布をしっかり接着できる透明な『セメダインnu~no!』で簡単にきれいな仕上がりが期待できます。

お裁縫が得意な方も耐水性に優れた高機能な『セメダインnu~no!』でワンランクアップした作品に仕上がります。

新しい裁縫道具『セメダインnu~no!』を是非お試しください。



特集 セメダインの 歴史

～皆様に愛されるブランドとなるために～

“セメダイン”は、お陰様で、接着剤の代名詞として、またとても親しみやすいネーミングとして皆様に愛されているブランドの一つとなっています。今回は、スーパー X No.8008のネーミング秘話を紹介させていただきます。

● セメダインネーミング秘話 “スーパーX No.8008”

● 「ネーミング会議」

いまから25年前、次期新製品ネーミング会議の中で提案された数々のネーミング候補の中に、究極の接着剤「セメダインZ」と言うのがあった。当社の接着剤は「セメダインA号」で始まり、三番目の工作用「セメダインC」で今日の基礎を築いた。その後、様々なネーミングの製品が世に出たが、社員の感覚としては「C」以上の存在感を持った接着剤は未だに無いのでは…と言うのが実感であった。その「C」を超えて最後にたどり着いたのが「Z」という訳である。

● 「会議は踊る—セメダインスーパー X No.8008の誕生」

ネーミングが「セメダインZ」とほぼ決まりかけた時に、あるスタッフより「Zは究極を意味することから、次に新製品を出す時に名前がなくなって困るのではないか。また自ら究極と言うのはおこがましい」…と。せっかく決まりかけていた会議が一瞬静まり返ってしまった。まさにその時、それまで伏し目がちにこのいきさつを聞いていた新入社員が「それじゃあ“X”はどうでしょう。究極の“Z”にあとチョットと言う段階に来たということで、今後も限りなくZに近づけるという希望も込めて。Aから

三番目で大成功を収めたセメダインCを究極のZから三つ手前のXで追い抜くというのも何か因縁深くていいんじゃないありません」…と。そこでプロジェクトリーダーから「よし！では究極に一步近づいた可能性を秘めた接着剤で、セメダインCを超える主力製品となるように名前は“セメダインスーパーX No.8008”とし、無限大∞の両側に末広がり8を付けてスーパーXの未来を象徴しよう」との力強いコメントがあった。



セメダインC

家庭用スーパーX 20ml



● 「聞きたくない風聞」

以上が『セメダインスーパーX No.8008』命名の由来であると当時のプロジェクトリーダーが語っていたが、最近、異説が存在することがわかった。セメダインスーパーXが当時まだ試作品の頃、社内呼称がないと不便であろうということで、当時の担当役員がプロジェクトリーダーに「おい、とりあえず驚異的試作品ということで、スーパーXにしておけ」と仮称がつけられた。しかし発売時期が間近に迫っても結局名前が決まらず、そのままセメダインスーパーXでスタートしてしまった。と言うものである。何か締まらないイマイチの話で、社員としてこれは聞こえなかった噂話としておきたい。



発売当初の工業用カタログ

● 「代表的ネーミングへの期待」

しかしながら、「セメダイン」と言うネーミングもセメントとダイン（接着力の単位）との合成語と言うのが通説となっているが、一方には当時日本市場を制覇していたメンダインと言う外国製の接着剤を国内から攻め出せということで「攻め出せメンダイン」から「セメダイン」になったという異説もある。エポックになるような製品にはネーミングにも曰く因縁があるようで、その意味でも『セメダインスーパーX No.8008』にはセメダインを代表するような世界的な製品になってもらいたいと当時の関係者は思っていた。

そして、ネーミング会議から25年、それは実現した。



広告



会社概要・株式の状況 (平成27年3月31日現在)

会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
設立	昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	265名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 りそな銀行 三菱UFJ信託銀行

取締役および監査役

(平成27年6月19日現在)

代表取締役会長	松本 有祐
代表取締役社長	岩切 浩
取締役	舘野 信 生産・物流本部長
取締役	鈴木 禎爾 営業本部長・自動車事業部長
社外取締役	及川 隆夫
社外取締役	小町 千治
監査役(常勤)	高津 正治
社外監査役	小澤 徹夫
社外監査役	細野 幸男
社外監査役	渡辺 政宏

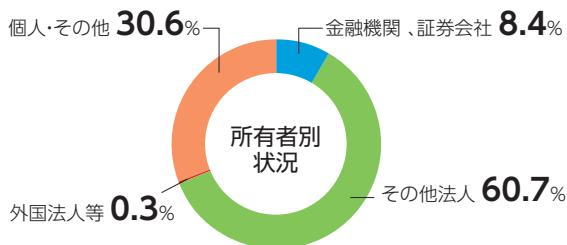
株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	1,164名

大株主 (上位10位)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社カネカ	4,445	30.0
セメダイン共栄会	1,691	11.4
三菱商事株式会社	1,008	6.8
東レ・ダウコーニング株式会社	563	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	440	2.9
株式会社りそな銀行	400	2.7
信越化学工業株式会社	400	2.7
日本ウイリング株式会社	310	2.0
株式会社LIXIL	300	2.0
株式会社丸運	200	1.3
アジアケンディジャパン株式会社	200	1.3

株式の分布状況



(注) 大株主の出資比率および株式の分布状況については、自己株式(356,099株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日・9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL (http://www.cemedine.co.jp/) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

インターネット ホームページ

ホームページで当社の事業活動、株主投資家向け情報などを掲載しております。ぜひご活用ください。

セメダイン

検索



<http://www.cemedine.co.jp/>



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株主優待制度の内容

(1) 対象株主

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様。

(2) 優待品

2,000円～3,000円相当の当社商品等を贈呈することを基本といたします。

(3) 贈呈時期

毎年、定時株主総会后(6月下旬～7月上旬)に送付する予定であります。

株式に関する手続きについて

● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
特別口座から一般 口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の 買取請求		
住所・氏名等のご変更		
特別口座の残高照会		
配当金の受領方法の 指定(※)	株主名簿管理人	【手続書類のご請求方法】 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵便物の発送と 返戻に関するご照会		
支払期間経過後の 配当金に関するご照会		
株式事務に関する 一般的なお問合せ		

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主の皆様は受領方法として株式数比例配分方式は選べいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
郵便物の発送と 返戻に関するご照会	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
支払期間経過後の 配当金に関するご照会		
株式事務に関する 一般的なお問合せ		
上記以外のお手続き、 ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

 **セメダイン株式会社**

本社 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
Tel:03-6421-7411